

2023年11月号

四万十図書館だより

発行*四万十市立図書館

秋が深まり朝夕はめっきり冷え込む様になりましたが、皆さまはいかがお過ごしですか？

さて本館では、11月18日(土)にティーンズ向け映画上映会『劇場アニメ 君の膵臓をたべたい』を予定しています。なお、こちらの行事は事前申込不要となっており、どなたでもご参加いただけます。皆さまのご参加をお待ちしています。

11月図書館情報

本館

ティーンズ向け映画上映会

● 『劇場アニメ 君の膵臓をたべたい』

日時：11月18日(土)13:30～(開場 13:15)

対象：どなたでも

場所：市役所3階防災対策室

参加費：無料

定員：25名程度

申込：不要

※状況により中止や変更になる可能性があります。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

→休館日

一般展示

「シリーズシリーズ」

普段はジャンルごとに並べてあるシリーズもの本を、同じ場所にまとめて展示しています。

場所：一般展示コーナー

一般特別展示

「絵本の日」

大人向け絵本を中心に関連本を展示しました。

絵本作家にまつわる本も集めています。

場所：一般展示コーナー横

児童展示

「げいじゅつの秋」

「芸術の秋」をテーマとして、物語・音楽・絵画・踊り・映画などの本を集めました。

場所：児童展示コーナー

郷土展示

「どうする元親 どうでる一豊」

高知県にゆかりのある戦国武将の長曾我部元親

と山内一豊に関連する本を集めました。

場所：一般郷土展示コーナー



新着本紹介



小説	『葬式同窓会』 乾 ルカ
『悪逆』 黒川 博行	『狙撃手の祈り』 城山 真一
『東家の四兄弟』 瀧羽 麻子	『宙わたる教室』 伊与原 新
『雨だれの標本』 吉永 南央	『月のうらがわ』 麻宮 好
『いまこそガーシュウィン』 中山 七里	『照子と瑠衣』 井上 荒野
『歌われなかった海賊へ』 逢坂 冬馬	『ハジケテマザレ』 金原 ひとみ
『ウミドリ』 梶永 正史	『帆船軍艦の殺人』 岡本 好貴
『うるさいこの音の全部』 高瀬 隼子	『マンションフォンティーヌ』 小路 幸也
『雨露』 梶 よう子	『夢分けの船』 津原 泰水
『夫よ、死んでくれないか』 丸山 正樹	『列』 中村 文則
『陰陽師 烏天狗ノ巻』 夢枕 獏	エッセイ
『かさなりあう人へ』 白石 一文	『人生を抱きしめる』 遠藤 周作
『彼女たち』 桜木 紫乃	『窓ぎわのトットちゃん 続』 黒柳 徹子
『唐木田探偵社の物理的対応』 似鳥 鶏	郷土
『喫茶おじさん』 原田 ひ香	『雨のあと』 藤原 緋沙子
『クニオ・バンブルーセン』 乙川 優三郎	『負けくらべ』 志水 辰夫

社会	商業
『家で死ぬということ』 石川 結貴	『逆引きキャッチコピー事典』 長井 謙
『Q&A 勘定科目の実務処理ハンドブック』 辰巳 八栄子	『昭和の商店街遺跡、撮り倒した590箇所』 山本 有
『公務員の「お仕事」と「正体」がよ〜くわかる本』 秋山 謙一郎	『世界のカフェデザイン』 ゲシュタルテン
動物	『Z世代がよくわかる本』 松村 雄太
『とことんカラス』 BIRDER 編集部	芸術
『ムツゴロウさんの最後のどうぶつ回顧録』 畑 正憲	『日々是パラダイス』 杉浦 正
医療	『日本美術・この一点への旅』 山下 裕二
『いたみを抱えた人の話を聞く』 岸本 寛史	『夢見ることだけはやめなかった』 南塚 直子
『粒子線治療がしっかりわかる本』 日本放射線腫瘍学会広報委員会	アウトドア
料理	『絶体絶命アウトドア体験談55』 つり人社書籍編集部
『大原千鶴のとびきりおいしい卵料理』 大原 千鶴	『爆釣エギング入門』
『キャンプ&山ごはん the Best』	言語
『栗しごとと栗のお菓子』 下園 昌江	『英英辞典の底力』 泉 幸男
『ムラヨシマサユキのベーグルブック』 ムラヨシ マサユキ	『60歳からの滑舌レッスン』 赤間 裕子

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など
 貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)
 定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)
 ※夜間・土日祝日駐車レーンを確保しました (守衛棟北側縦列駐車3台分)